

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2019年10月号(第58号)



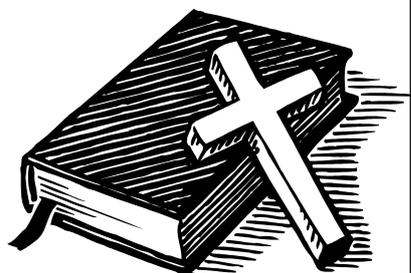
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

子たちがみな血と肉を持っているので、イエスもまた同じように、それらのお持ちになりました。それは、死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するためでした。【ヘブル 2 章 14～15 節】

全ての人とは言いませんが、多くの人が恐れているものとして「死」があるのではないのでしょうか。「いつ死んでもいい」と口では言いつつも、いざ体の不調があると、言葉とは裏腹に病院に駆け込んでしまいます。もちろん、一日でも長く地上で生きたいという思いは人として当然の願望です。しかし、どれだけ死を先延ばしにできても、その時は必ず来ます。そうであるならば、この死とどのように向き合っていくのかを考えることも大切なことのように思います。死の先には何が待っているのでしょうか。希望でしょうか、絶望でしょうか。

さて、今月の聖書のことばには、イエス・キリストが死の恐怖から私たちを救い出してくださったことが記されています。聖書は、イエス・キリストは神であり、その神で

ある御方が私たちと同じように肉体（血と肉）を持たれたと語ります。その目的は「死の力を持つ者、すなわち、悪魔をご自分の死によって滅ぼし、死の恐怖によって一生涯奴隷としてつながれていた人々を解放するため」でした。つまり、神であるイエス・キリストが人となられたのは、私たちが死の恐怖から解放するためであったのです。

そもそもの話ですが、聖書は神が全ての物を創造したと言います。神が創造された当初は、「見よ、それは非常に良かった」とあり、素晴らしい世界が造られました。当然人も造られ、アダムとエバがエデンの園に置られました。彼らは、園にある木の実を好きなだけ食べて良いと言われたのですが、一つだけ食べてはならないと言われた木の実がありました。それを食べない限り、

彼らは自由に働き、食べて生きることができました。しかし彼らは、悪魔（聖書には「へビ」とあります）によって唆され、その食べてはならないと言われた木の実を取って食べてしまいました。そうして神の約束を破ったことでこの地上に罪が入り、人は死ぬ者になりました。つまり、死は創造時にはなかったものであり、「よそ者」なのです。このよそ者である死が私たちに恐怖をもたらしました。イエス・キリストは、この死から私たちを解放するためにこの地上に来られ、ご自分の十字架の死によって私たちに解放をもたらしてくださいました。イエス・キリストは私たちの罪を背負って身代わりとなって十字架で死んだわけですが、その死に勝利し、よみがえられたことによって解放がもたらされました。そのイエス・キリストのよみがえりによって、私たちが死へと追いやった悪魔は敗北し、私たちにあって死は恐れるべきものではなくなりました。それは、私たちに希望が与えられたからです。その希望とは、イエス・キリスト

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00

教会学校 10:00～10:40（子どもから大人まで）

19:30～21:00

○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（子育てなどを行っている方のための集い。）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

がよみがえられたように、私たちもよみがえるという希望です。私たちは必ず死を迎えるわけですが、聖書は、やがて時が来た時によみがえることになる、と教えます。その希望、死んで終わりではなく、やがて復活する希望こそがキリスト教の中心にあるものです。人は死んで終わりではありません。復活の希望があるのです。その希望を持つならば、死は恐れるべきものではなくなります。もちろん、死に対する多少の嫌悪感が残るかもしれませんが、この地上に何がなんでもしがみつ়く必要はありません。死んでもなお、神と共に生きる希望があり、やがて復活する希望があるからです。ぜひ、この希望を受け取ってください。

◆コラム

どのようにしたら復活の希望を受け取ることができるのでしょうか。聖書はその方法は唯一だと教えます。それは「信じること」です。聖書は信仰によって人は救われるのであって、行ないによるのではない、と語ります。イエス・キリストが私の罪を背負って身代わりとなって十字架に架かって死に、それから三日目に復活したことを信じることによって救われるのです。そのことを信じた人は、イエス様と同じようにやがて復活することになると聖書は教えます。そこに希望があります。この希望を、イエス・キリストを信じることによって受け取って頂きたいと願います。